

サタデープログラム^{36th} ニュース

講座番号：2番 第1部(9:30~11:00)

みんなで一緒に基礎英語 1!

講師 田村岳充先生

(宇都宮大学助教 NHKラジオ基礎英語1 講師)



宇都宮大学教育学部では、英語科授業改善を目指して研究、指導を行っています。そのため、宇都宮大学外の学校にも多く訪問しています。その中で田村先生が特に着目されているのは、英語での「small talk」(雑談、世間話)です。授業内で先生と生徒が交わす英語のやり取りがどの

ように行われているかということです。

田村先生が講師として出演されているNHKラジオ基礎英語1の中でも、パートナーのダイアナさんとクリスさん、田村先生がその日のレッスンに関係する軽い会話をしてからレッスンに入ります。例文だけを学習するのは無機質で、実際に使える力になりにくいからです。

【プロフィール】

1972年栃木県生まれ。1994年静岡大学教育学部小学校教員養成課程英語科卒業。

大学卒業後、宇都宮市内の公立中学校で7年間勤務したのち、在外教育施設派遣(フィリピン・マニラ日本人学校)、宇都宮大学教育学部附属中学校教諭を経て、2018年より宇都宮大学教育学部に務めている。

その他NHKラジオ基礎英語1の講師にも抜擢される活躍ぶりを見せている。

～NHK ラジオ基礎英語1とは～

1926 年 4 月から NHK が社団法人として設立される以前の旧東京放送局で「初等英語講座」として始めたのが起源。現在は、月曜日から金曜日の、

6:00～、18:45～、21:00～の

15 分間で放送されている。

機会があったら是非聞いてほしい。



右の写真は田村先生の
メッセージが入った
テキスト。(11月号)

◆語学習得のプロセス◆

私たちが母語を身に付けるプロセスは、次のようなものです。親など、周囲から話しかけられる言葉のシャワーを浴びて、ある時期が来ると初めて言葉を発するといわれています。それを例えると、言葉を聞くことでコップに水が溜まっていき・・・ある時、滴がポロッとこぼれるように言葉を発する。

英語の場合も同じです。みんなも昔、いつの間にか grapes(ぶどう)、good(良い)・・・などの言葉を知ったことでしょう。これはこれらの言葉をどこかで見たり聞いたりし、コップに水が溜まりポロッとこぼれたその滴の一つです。しかし、その後の言葉を習得していく過程を解明する研究はまだ途中で、詳しくは明らかになっていません。

～初めて言葉を発した後は～

人間は前述のように言葉を初めて発します。その後はどうでしょう。人間はただ言葉を聞いて覚えるだけではありません。話すということも重要です。話すことによって、今の自分が言えること、言えないことに気づくことができるからです。もう一つ重要なのは相手との会話でのやり取りです。また、相手の反応から、自分の言葉の間違いに気づくことができるからです。

人間は聞く、話す、会話をする、の三つを繰り返して言葉を習得していくと考えられています。

～英語の場合～

英語でも話す、聞く、会話をする、の三つが大切です。ただ英語の場合はどうしても英単語も覚えなくてはなりません。記憶に長く留まるようにするには、いろいろな学び方を組み合わせることが有効です。次のようなステップで練習してみてもどうでしょうか。

その一 まず聞くべし

その二 発音と綴りの関係を意識すべし

その三 意味もセットで覚えるべし

その四 辞書を引いて例文もチェックすべし

その五 働きも確認するべし

その六 会話の中で実際に使ってみるべし

◆最後に◆

田村先生は、コミュニケーションの道具として、英語の有効性について認めつつも、この世界の言語が英語のみに統一されることは、とても危険なことだと言います。母国語を失うことは、その国の、そして自分の特徴を一つ失うことになるからです。英語を学び、コミュニケーションのための道具として活用しつつも、母国語や、相手の国の言葉も大事にしていく必要があります。

また、言語は英語だけではありません。コミュニケーションツールも言葉だけではありません。そのことは忘れてはいけません。

当日は基礎英語1に関することをはじめとする盛沢山の内容です。Live 基礎英語1も？質問も大歓迎ですので、みなさん是非お越しください。

文責 中学1年I組木村一温

